

令和4年度 授業評価結果

1. 授業評価の目的

千葉県立野田看護専門学校では、教育の質の向上を図るため「授業評価」を行っています。授業評価は、非常勤講師・専任教員が実施した授業について、学生からの授業評価結果をもとに教育水準の維持・向上や創意工夫ある教育の追及を行い、教育の質の向上に反映させることを目的としています。

2. 実施方法

本校では平成21年度から授業評価に取り組んでいます。思案を重ね平成28年4月1日から、現行の評価項目（非常勤講師は6項目、専任教員は9項目）に対して、4段階の評価尺度（とてもそう思う・まあまあそう思う・あまりそう思わない・全くそう思わない）で実施しています。学生は、授業終了後に授業評価の目的・個人情報保護等について説明を受け、アンケートに回答しています。また、令和4年度から電子ネットワークシステムを取り入れ、すべての評価票配布・回答収集・集計をペーパーレス化しました。

評価結果は、専任教員にフィードバックされ、授業開発に役立てられています。また、年度末には総合的な評価を行い、次年度の課題の明確化とカリキュラムの改善に活用しています。結果の公表にあたっては、学生・非常勤講師・専任教員に倫理的配慮の説明を行っています。

3. 授業評価集計結果（両学科）

本校は、新型コロナウイルス感染症対策としてリモート授業を行い、感染症拡大予防に取り組んできました。令和4年度の授業評価結果においては、リモート授業を含めた結果になっています。臨地実習評価は、学内実習・実習時間が異なる実習を含んでいます。

<非常勤講師>

平均回収率 63.1%

評価項目	平均値
1.この授業はシラバスに沿って行われていた。	3.7
2.授業内容は適切であった。	3.6
3.授業方法は適切であった。	3.6
4.学生を尊重した対応であった。	3.7
5.総合的にこの授業に満足できた。	3.6
6.あなた自身はこの授業に積極的に参加できた。	3.6

総評：実施数 74 件、平均値は 3.5 以上と高評価であった。

<専任教員>

平均回収率 61.4%

評価項目	平均値
1.教育理念・教育目標との一貫性があった。	3.7
2.この授業は授業計画(シラバス・時間数)に沿って行われていた。	3.7
3.この授業の学習内容やレベルや量は適切であった。	3.5
4.事例や課題は思考を深めるために役立った。	3.6
5.授業の進行や時間配分は適切であった。	3.5
6.学生の質問や意見を尊重し、反応や理解度に合わせて対応した。	3.6
7.内容を理解し、学習目標を達成できた。	3.5
8.この授業に積極的に参加できた。	3.6
9.総合的にこの授業は満足できた。	3.6

総評：実施数 44 件、平均値は 3.5 以上と高評価であった。

<臨地実習>

平均回収率 85.5%

評価項目		平均値
I.自身の 実習への取 り組み	1.患者、家族や医療スタッフ、実習指導者との関係を築きながら実習を展開できた	3.6
	2.日々の学習を振り返り、積み重ねながら学習できた	3.5
	3.ビジョンゴールに向かい、自分を高める努力をした	3.5
	4.グループメンバー間で協力をしながら互いに高めあうことができた	3.6
II.ツールを うまく活用 できたか	5.実習目標を達成するために必要な学習体験ができた	3.6
	6.実習を進めるうえで、ルーブリック・ポートフォリオ・リフレクションノートを活用できた	3.5
	7.オリエンテーションの内容は、実習を円滑に行うために役立った(実習オリ、病棟オリなど)	3.6
IV.教員の かかわり	8.自ら考え行動するための支援が得られた	3.7
	9.行動や態度から看護者としてのあり方を学べた	3.7
IV.指導者 のかかわり	10.自ら考え行動するための支援が得られた	3.7
	11.行動や態度から看護者としてのあり方を学べた	3.6
V.実習環境	12.学生のための環境(物品・資料・場所)は確保されていた	3.6
	13.実習しやすい環境(人的)だった	3.6
VI.総合評価	14.全体として、充実した実習だった	3.6

総評 : 実施件数 18 件、平均値は 3.5 以上と高評価であった。